



推進組織

環境に関する中長期方針や重要な取り組み事項は、社長を委員長とする「環境委員会」で審議・決定しています。「環境委員会」の下部組織は、製品・生産・品質の分野で構成される4つの分科会があります。さらに、分科会の下部組織には、エネルギー使用量・廃棄物量・VOC^{※1}排出量の低減や環境保全活動な

どを推進するワーキンググループを設置し、専門的な視点から環境保全や管理を行っています。

また、国内外の関係会社との情報共有の場として連絡会を設けています。2019年からは生産技術と現場のモノづくりの連携を強め(合同生産環境部会を新設)省エネ活動を進めています。

※1 揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds)

環境組織体制図



環境委員会、各分科会から工場などへの展開は、各工場 ISO14001 システムなどに従い専門委員会を設置して対応しています。

気候変動・資源枯渇に関する「リスク」と「機会」

気候変動・資源枯渇に関する「リスク」と「機会」を重要な経営課題と認識しています。異常気象の深刻化や降雨パターンの変動、渇水や洪水による経済、生産活動への影響など、財務的かつ社会全体やサプライヤーへのリスクに対し、法規制や動向を踏まえ、グローバルな視点で対応強化を図っています。

| | リスク | 機会 |
|----------------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 気候変動 | 炭素税やエネルギー価格の高騰によるコスト増加 | 軽量化、次世代カー製品開発省エネ促進によるコスト低減 |
| 資源枯渇 | 水不足、水害による生産活動への影響 材料調達難、材料価格の高騰によるコスト増加 | 水の再利用、使用量削減によるコスト低減 リサイクル技術、材料使用量の減少によるコスト低減 |
| マネジメント (法規制順守) | 法違反などの環境問題、環境保全に対する取り組み不足から生じる企業の信頼失墜 | 環境活動の強化によるブランド力の向上 |

事業活動における資源投入と環境排出

エネルギー、材料などの投入資源を少なくし、製品としてのアウトプットの極大化を図るために、商品開発力、工法開発力、現場の改善力を活かし、事業活動を通じた改善に取り

組んでいます。

また、投入資源も、環境に配慮した材料、クリーンエネルギーを活用しています。

INPUT

| | | | |
|----------------------------|------------------------|---------------|---------------------|
| 総物質投入量 | 45,974t | ゴム(練生地) | 17,820t |
| 樹脂 | 28,154t | 購入部品、金属、液体は除く | |
| 総エネルギー投入量 | 257.1万GJ ^{※3} | 重油 | 1.2万GJ |
| 購入電力 | 124万GJ | 灯油 | 0万GJ |
| 再生可能エネルギー電力 | 2.5GJ | LNG | 12.6万GJ |
| 都市ガス | 119万GJ | ガソリン | 0.1万GJ |
| LPG | 0.2万GJ | | |
| 水資源投入量 | 126万m ³ | 上水 | 21.4万m ³ |
| 工業用水 | 69.6万m ³ | 地下水 | 35.0万m ³ |
| PRTR ^{※4} 対象物質使用量 | 593t | | |

OUTPUT

| 製品 | | 事業活動 | |
|-------------------|------------------------|-----------------------|--------|
| 大気への排出 | | NOx ^{※6} | 108t |
| CO ₂ | 10.6万t-CO ₂ | ばいじん | 0t |
| 6ガス | 0.02万t-CO ₂ | PRTR対象物質排出量 | 91t |
| SOx ^{※5} | 0t | VOC ^{※7} 排出量 | 270t |
| 廃棄物などの排出 | | 一般廃棄物量 | 7t |
| 埋立廃棄物量 | 0t | 有価物量 | 5,893t |
| 焼却廃棄物量 | 1t | PRTR対象物質移動量 | 59t |
| 産業廃棄物量 | 7,203t | | |
| 排水 | | 窒素排出量 ^{※8} | 8.3t |
| 総排水量 | 93万m ³ | リン排出量 ^{※8} | 0.5t |
| PRTR対象物質排出量 | 0.1t | COD排出量 ^{※8} | 4.1t |

※3 ギガジュール(1,000,000,000J)

※4 Pollutant Release and Transfer Register (環境汚染物質排出・移動登録制度)

※5 硫酸酸化物

※6 窒素酸化物

※7 Volatile Organic Compounds

(揮発性有機化合物)

※8 対象範囲:春日・稲沢・平和町・瀬戸の4工場、北島技術センター、美和技術センター、サンコート井之口